

## 第9章 離職者（と勤続者）の現在の生活

この章では離職者の生活状況を「初めての正社員勤務先」勤続者との比較を交えて、記述する。

離職者については、離職後現在は正社員として働いている者を「転職（正社員）」、現在はアルバイトや契約社員、派遣社員など正社員以外の雇用形態で働いている者を「転職（正社員以外の雇用）」、現在は会社経営者や役員、自営業主、内職、家族従業員などとして働いている者を「役員、自営、家族従業員他」、現在はもっぱら就職活動をしている者を「求職者」、もっぱら家族の世話（家事・育児・介護）をしていたり、もっぱら勉強をしていたり、あるいはこれらのいずれにも当てはまらないとする者を「非労働力」と区分して、これらの状況別に家族状況などを記述する。

なお、分析対象は全調査対象者（5,196人、男性2,921人、女性2,275人）となるが、一部の設問については、本人でなければ正確な回答は得られないと考え、「親代理調査」の票を分析対象から除いた。これを除いた場合については、図表に注記する。

### 第1節 現在の家庭状況

まず、居住する地域である。調査では都道府県名を尋ねているが、ここでは地域ブロックにまとめて示した。北海道・東北地方の女性では、離職者が多く特に非労働力化した人が多いなど、若干の地域特性が見られる。

図表9-1 居住地域別の就業状況

単位：％、太字は実数

	初めての正社員勤務先勤続	離職者				求職者	非労働力	合計	N
		転職(正社員)	転職(正社員以外の雇用)	役員、自営・家族従業員他					
男性									
北海道・東北	68.7	17.9	4.9	2.6	1.6	4.2	100.0	<b>307</b>	
北関東	67.7	20.3	9.0	0.8	0.8	1.5	100.0	<b>133</b>	
南関東	70.0	19.1	5.9	1.8	1.0	2.0	100.0	<b>978</b>	
甲信・北陸	68.0	17.7	5.0	1.1	2.2	6.1	100.0	<b>181</b>	
東海	68.0	23.8	4.8	1.2	1.9	0.2	100.0	<b>416</b>	
関西	66.7	20.7	6.2	2.1	1.2	3.1	100.0	<b>484</b>	
中国・四国	62.0	23.1	7.0	2.2	2.2	3.5	100.0	<b>229</b>	
九州・沖縄	57.5	21.2	11.4	2.6	2.1	5.2	100.0	<b>193</b>	
合計	67.4	20.3	6.2	1.8	1.5	2.7	100.0	<b>2,921</b>	
女性									
北海道・東北	31.6	13.4	20.6	2.0	2.4	30.0	100.0	<b>247</b>	
北関東	41.2	9.4	18.8	0.0	2.4	28.2	100.0	<b>85</b>	
南関東	44.6	15.4	18.7	1.2	1.4	18.8	100.0	<b>664</b>	
甲信・北陸	42.0	13.8	23.9	1.4	0.7	18.1	100.0	<b>138</b>	
東海	45.3	11.7	17.2	2.0	1.7	22.1	100.0	<b>349</b>	
関西	44.5	12.0	16.8	1.4	1.2	24.0	100.0	<b>416</b>	
中国・四国	40.5	12.0	19.0	1.3	3.2	24.1	100.0	<b>158</b>	
九州・沖縄	39.0	15.1	18.8	3.2	2.3	21.6	100.0	<b>218</b>	
合計	42.2	13.4	18.7	1.6	1.7	22.4	100.0	<b>2,275</b>	

次いで、家族形成の状況である。男性の場合、結婚している人は3分の1強で、4分の1の人には子どもがいる。初めての正社員勤務先に勤続している人が最も家族形成が早く、離職者のうち正社員として再就職している人がそれに次いでいる。正社員以外の雇用に就いたり求職中であったりする男性では、結婚している人は少ない。

女性では、半数の人が結婚し、3分の1強の人に子どもがいる。最も家族形成が進んでいるのは、離職して非労働力化した人で、専業主婦としての生活を選択した人が大半である。また、離職して「役員、自営・家族従業員他」「転職（正社員以外の雇用）」となった人がこれに次ぐ。正社員の女性では、勤続者も転職者も、結婚している人は3分の1程度にとどまる。

図表9-2 結婚、有子の状況

単位：%、太字は実数

		結婚している	子どもがいる	N
男性	初めての正社員勤務先勤続	41.1	27.0	<b>1,968</b>
	転職(正社員)	37.0	25.1	<b>594</b>
	転職(正社員以外の雇用)	12.1	8.2	<b>182</b>
	離職者 役員、自営・家族従業員他	31.5	22.2	<b>54</b>
	求職者	7.0	0.0	<b>43</b>
	非労働力	8.8	5.0	<b>80</b>
	合計	36.9	24.3	<b>2,921</b>
女性	初めての正社員勤務先勤続	36.1	25.8	<b>959</b>
	転職(正社員)	31.1	19.0	<b>305</b>
	転職(正社員以外の雇用)	46.1	25.6	<b>425</b>
	離職者 役員、自営・家族従業員他	62.2	32.4	<b>37</b>
	求職者	23.1	17.9	<b>39</b>
	非労働力	92.0	78.6	<b>510</b>
	合計	50.0	36.7	<b>2,275</b>

次に、離職者について、結婚や子どもを持つタイミングが、初めての正社員勤務先からの離職、および現在の勤務先への就職とどのような関係にあるかを見る。まず図表9-3は結婚についてである。初めての正社員勤務先から離職した時期よりも前（または同月）に結婚していた人は、男性離職者の36.1%、女性離職者の38.6%を占める。そこから現職に入職するまでに結婚した人は男女とも14.5%で、現職へ入職してから結婚した人は男性離職者の47.2%、女性離職者の13.3%である。女性離職者では離職後に結婚しているが現職への入職がない人（現在は無業）が33.6%いる。

離職後現在は正社員である人は、男女とも、現職への入職後に結婚している人が多い。また、専業主婦になっていると思われる離職後無業の人は、4割強が離職前に結婚しているが、6割近くは離職後に結婚している。

図表9-3 離職者のうち結婚した人の初めての正社員勤務先からの離職、現在の勤務先への入職と結婚のタイミング

単位：％、太字は実数

	離職者				計	N
	初めての正社員離職以前・同月に結婚	初めての正社員離職後、現職入職前・同月に結婚	現職入職後に結婚	初めての正社員離職後に結婚・現在無業		
男性						
転職(正社員)	35.9	12.3	51.8	0.0	100.0	<b>220</b>
転職(正社員以外の雇用)	27.3	40.9	31.8	0.0	100.0	<b>22</b>
役員、自営・家族従業員他	47.1	17.6	35.3	0.0	100.0	<b>17</b>
求職者	66.7	0.0	0.0	33.3	100.0	<b>3</b>
非労働力	28.6	0.0	0.0	71.4	100.0	<b>7</b>
男性計	36.1	14.5	47.2	2.2	100.0	<b>269</b>
女性						
転職(正社員)	12.6	27.4	60.0	0.0	100.0	<b>95</b>
転職(正社員以外の雇用)	37.2	41.8	20.9	0.0	100.0	<b>196</b>
役員、自営・家族従業員他	39.1	30.4	30.4	0.0	100.0	<b>23</b>
求職者	66.7	0.0	0.0	33.3	100.0	<b>9</b>
非労働力	43.9	0.0	0.0	56.1	100.0	<b>469</b>
女性計	38.6	14.5	13.3	33.6	100.0	<b>792</b>

また、第1子である子どもを持った時期との関係を見たのが図表9-4である。初めての正社員勤務先から離職した時期よりも前（または同月）に子どもを持った人は、男性離職者の26.1%、女性離職者の12.3%で、女性の場合、子供を産んでから離職した人は少ない。子どもがいる離職者の6割以上が、離職後に子どもを産んで、現在は無業である。男性の場合は、現在の勤務先に入職後に子どもを持った人が半数以上である。

図表9-4 子どもがいる人の初めての勤務先からの離職、現在の勤務先への入職と有子のタイミング

単位：％、太字は実数

	離職者				計	N
	初めての正社員離職以前・同月に有子	初めての正社員離職後、現職入職前・同月に有子	現職入職後に有子	初めての正社員離職後に有子・現在無業		
男性						
転職(正社員)	26.2	14.1	59.7	0.0	100.0	<b>149</b>
転職(正社員以外の雇用)	20.0	40.0	40.0	0.0	100.0	<b>15</b>
役員、自営・家族従業員他	33.3	16.7	50.0	0.0	100.0	<b>12</b>
非労働力	25.0	0.0	0.0	75.0	100.0	<b>4</b>
男性計	26.1	16.1	56.1	1.7	100.0	<b>180</b>
女性						
転職(正社員)	17.2	24.1	58.6	0.0	100.0	<b>58</b>
転職(正社員以外の雇用)	20.2	44.0	35.8	0.0	100.0	<b>109</b>
役員、自営・家族従業員他	8.3	41.7	50.0	0.0	100.0	<b>12</b>
求職者	57.1	0.0	0.0	42.9	100.0	<b>7</b>
非労働力	8.7	0.0	0.0	91.3	100.0	<b>401</b>
女性計	12.3	11.4	13.5	62.9	100.0	<b>587</b>

また、結婚している人については、配偶者の就業状況を尋ねた。男性の場合、配偶者が無業である場合と正社員である場合の両方がともに4割弱と多い。これは初めての正社員勤務

先に勤続している人で多く、離職して正社員として再就職している人の場合はどちらもやや少ない。女性の場合、配偶者は9割がた正社員である。これは初めての正社員勤務先に勤続している人も、離職して正社員として再就職している人も変わらない。離職して現在は正社員以外の雇用である場合、配偶者も同様に正社員以外であるケースが若干多い。

図表9-5 結婚している人の配偶者の就業の状況

単位：％、太字は実数

		正社員	パート・アルバイト・非常勤	契約社員	派遣社員	役員・自営・家族従業員他	働いていない	合計	N
		初めての正社員勤務先勤続	40.8	14.9	2.6	1.5	0.5	39.7	100.0
男性	離職者	38.2	21.8	4.1	0.9	0.5	34.5	100.0	<b>220</b>
	離職者	31.8	18.2	13.6	9.1	0.0	27.3	100.0	<b>22</b>
	離職者	23.5	5.9	5.9	0.0	17.6	47.1	100.0	<b>17</b>
	離職者	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	<b>3</b>
	離職者	28.6	42.9	0.0	0.0	14.3	14.3	100.0	<b>7</b>
合計	39.8	16.3	3.2	1.5	0.8	38.3	100.0	<b>1,077</b>	
女性	初めての正社員勤務先勤続	91.3	0.6	1.4	1.2	4.6	0.9	100.0	<b>346</b>
	離職者	92.6	1.1	1.1	0.0	4.2	1.1	100.0	<b>95</b>
	離職者	83.7	5.6	2.6	0.5	5.6	2.0	100.0	<b>196</b>
	離職者	56.5	4.3	0.0	0.0	39.1	0.0	100.0	<b>23</b>
	離職者	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	<b>9</b>
合計	87.8	1.1	1.7	0.2	3.6	5.5	100.0	<b>469</b>	
合計	88.0	1.8	1.7	0.5	5.0	3.0	100.0	<b>1,138</b>	

図表9-6は世帯全体の年収である。男性の場合、正社員でない場合に世帯年収が低いケースの割合が大きい。特に非労働力であったり、正社員以外の雇用形態であったりする場合に顕著である。女性では、求職者や「役員、自営・家族従業員他」に世帯年収の低いケースが多い。

図表9-6 世帯年収の分布

単位：％、太字は実数

		100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～600万円未満	600～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000～1,200万円未満	1,200～2,000万円未満	2,000万円以上	収入はわからない	わからぬ	N
		初めての正社員勤務先定着	0.1	1.1	4.7	15.8	35.8	18.1	9.3	4.6	3.7	1.0	0.0	5.8
男性	離職者	0.2	1.2	7.1	20.3	30.0	14.5	9.4	4.2	3.7	1.1	0.0	8.3	<b>566</b>
	離職者	5.4	10.8	21.7	12.7	16.3	9.6	4.8	3.6	1.8	0.0	0.0	13.3	<b>166</b>
	離職者	7.5	3.8	18.9	18.9	15.1	5.7	7.5	3.8	1.9	5.7	0.0	11.3	<b>53</b>
	離職者	9.8	2.4	7.3	17.1	19.5	7.3	0.0	0.0	2.4	2.4	2.4	29.3	<b>41</b>
	離職者	10.8	12.2	14.9	10.8	6.8	5.4	1.4	1.4	2.7	1.4	6.8	25.7	<b>74</b>
合計	1.0	2.1	6.8	16.5	32.0	16.1	8.7	4.3	3.5	1.1	0.2	7.8	<b>2,757</b>	
女性	初めての正社員勤務先定着	0.0	2.6	9.6	13.9	21.0	16.8	12.2	7.2	4.5	0.5	0.0	11.8	<b>937</b>
	離職者	0.0	4.6	13.2	12.2	22.7	14.8	9.9	6.3	4.3	0.0	0.0	12.2	<b>304</b>
	離職者	1.7	7.3	12.8	15.2	23.7	14.2	7.3	1.9	1.7	0.2	0.0	14.0	<b>422</b>
	離職者	5.4	10.8	8.1	18.9	27.0	8.1	2.7	5.4	0.0	0.0	0.0	13.5	<b>37</b>
	離職者	10.5	5.3	15.8	7.9	15.8	5.3	5.3	2.6	5.3	0.0	5.3	21.1	<b>38</b>
合計	1.4	1.4	7.9	19.9	36.2	13.8	3.7	2.0	1.4	0.2	0.4	11.8	<b>508</b>	
合計	0.9	3.7	10.4	15.2	25.2	15.0	8.8	4.8	3.2	0.3	0.2	12.5	<b>2,246</b>	

注：「親代理調査」は対象から除いた。  
臨時収入、副収入を含む。

## 第2節 現在の生活全般に対する満足感

調査では、現在の生活全般についてどのように感じているかについて、「満足」から「不満」まで、図表9-7の通り5段階の選択肢から選んでもらった。初めての正社員勤務先勤続者と離職者計を比べると、男性は離職者の方が「不満」がやや多く、女性は離職者の方が「満足」がやや多い。離職者の内訳でみると、男性で「不満」が多いのは、「求職者」「非労働力」、「転職（正社員以外の雇用）」の場合であって、正社員として転職している場合は、勤続者と同等、ないし「満足」がやや多い。女性の場合は、「求職者」であれば明らかに「不満」が多い。「非労働力」や正社員以外の雇用、「役員、自営・家族従業員他」においては、勤続者よりもさらには正社員で転職した者よりも「満足」だとする者が多い。

表の右端は、これを満足感が高いほど高くなるように点数化してその平均値を示したものである。この点数の差について統計的な検討を行ったところ、まず、勤続者と離職者の間については、男性の場合は0.1%水準で勤続者のほうが点数が高いことが確かめられた。一方女性については、有意水準は少し落ちるが（5%水準）が、離職者の方が点数が高いという結果になった。

さらに、離職後の状況別の点数を比較したところ、男性の場合「初めての正社員勤務先勤続者」「転職（正社員）」との間に有意差はないが、この2つの類型と「転職（正社員以外）」「求職者」「非労働力」の間には有意な差があり、この2つの類型の方が点数は高いことが明らかになった（5%水準）。女性の場合、「非労働力」は「初めての正社員勤務先勤続者」と「求職者」より有意に点数が高く、「求職者」はいずれの類型よりも点数が低いことが明らかになったが、他の類型間の差は統計的には有意でなかった（5%水準）。

男女では職業と生活の関係についての意識が異なり（性別役割分業観）、男性では離職の有無はともかく正社員であるかどうか生活全般についての満足感を分け、女性では離職して非労働力（専業主婦）になることが満足感を高めるということだろう。ただし、男女とも、離職後に求職活動を続ける状態なら満足感は特に低くなる。失業は最も不満足な状態である。

図表9-7 現在の生活全般に対する満足感

単位：％、太字は実数

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	N	満足感点数(点)
男性者	初めての正社員勤務先勤続	10.1	43.1	25.3	14.8	6.7	<b>1,857</b>	<b>3.35</b>
	転職(正社員)	13.3	44.9	20.3	16.4	5.1	<b>566</b>	<b>3.45</b>
	離職 転職(正社員以外の雇用)	4.8	25.9	28.9	20.5	19.9	<b>166</b>	<b>2.75</b>
	職 役員、自営・家族従業員他	22.6	37.7	11.3	22.6	5.7	<b>53</b>	<b>3.49</b>
	求職者	2.4	9.8	12.2	24.4	51.2	<b>41</b>	<b>1.88</b>
	非労働力	9.5	20.3	21.6	13.5	35.1	<b>74</b>	<b>2.55</b>
	離職者計	11.4	37.3	21.1	17.7	12.4	<b>900</b>	<b>3.18</b>
男性計	10.5	41.2	23.9	15.7	8.6	<b>2,757</b>	3.29	
女性者	初めての正社員勤務先勤続	10.0	45.9	24.7	14.1	5.3	<b>937</b>	<b>3.41</b>
	転職(正社員)	12.5	46.7	21.1	15.1	4.6	<b>304</b>	<b>3.47</b>
	離職 転職(正社員以外の雇用)	16.8	42.2	18.7	15.9	6.4	<b>422</b>	3.47
	職 役員、自営・家族従業員他	24.3	48.6	18.9	2.7	5.4	<b>37</b>	3.84
	求職者	7.9	31.6	13.2	26.3	21.1	<b>38</b>	<b>2.79</b>
	非労働力	20.9	41.7	21.9	11.2	4.3	<b>508</b>	<b>3.64</b>
	離職者計	17.3	42.9	20.3	13.8	5.6	<b>1,309</b>	<b>3.53</b>
女性計	14.3	44.2	22.1	13.9	5.5	<b>2,246</b>	3.48	

注：「親代理調査」は対象から除いた。

満足感点数は、満足＝5、やや満足＝4、どちらでもない＝3、やや不満＝2、不満＝1としたときの平均値。

最後に図表9-8では、初めての正社員勤務期間別の状況を見た。前の章でみた職業生活の諸側面への満足感については、男性正社員の場合は1年未満という短い勤務期間で初めての正社員勤務先を辞めた人は、より長い期間の勤務後に辞めた人より、満足感が低い傾向が示された。女性正社員の場合ははっきりしたものではないが「1年超～2年以内」の勤務期間がその後の満足感を高める可能性が示唆された。生活全般への満足感でも同じような傾向が見られるのだろうか。

まず①は、全離職者を対象にした場合であるが、男性については、かなり鮮明に1年未満での離職の場合の満足感が低い傾向が見て取れるが、女性のほうは傾向がよくわからない。満足感を点数化して統計的な検討を行うと、男性については「1年以内」は「1年超～2年以内」「2年超～3年以内」「4年超」よりも有意に点数が低かった。女性については有意差はみられなかった。

②は離職者のうち、転職して現在正社員である者だけの場合である。前の章と同じ対象ということになる。全離職者を対象とした時より男性は全体に満足感が高まり、女性は逆に低くなっている。

その中でも男性の場合は、「1年以内」ではより勤務期間が長い者よりも、「満足」が少なく「やや不満」が多いことがわかる。職業生活への満足感と同じ傾向である。女性の場合は、「1年超～2年以内」で特に満足感が高い傾向はなく、職業生活への満足感との関係はみられない。点数化して検討した結果では、「1年以内」は「1年超～2年以内」より低いことが確認された。女性についてはどの区分の間にも有意差はみられなかった。

少なくとも男性については、「1年以内」での離職がその後のキャリアに対して、個人の主観の面からのマイナスの影響を与える可能性が高いことは指摘できよう。

図表9-8 現在の生活全般に対する満足感（性別・初めての正社員勤務先勤続期間別）

①全離職者

単位：%、太字は実数

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	合計	N	満足感点数(点)
男性	1年以内	6.7	29.6	22.1	23.3	18.2	100.0	<b>253</b>	<b>2.83</b>
	1年超～2年以内	12.7	40.1	21.7	14.0	11.5	100.0	<b>157</b>	<b>3.29</b>
	2年超～3年以内	17.8	39.7	16.4	15.8	10.3	100.0	<b>146</b>	<b>3.39</b>
	3年超～4年以内	9.6	37.8	23.7	18.5	10.4	100.0	<b>135</b>	3.18
	4年超	12.9	42.6	21.1	14.4	9.1	100.0	<b>209</b>	<b>3.36</b>
	合計	11.4	37.3	21.1	17.7	12.4	100.0	<b>900</b>	3.18
女性	1年以内	15.5	39.7	22.4	15.2	7.2	100.0	<b>290</b>	3.41
	1年超～2年以内	14.7	44.2	16.7	17.1	7.4	100.0	<b>258</b>	3.42
	2年超～3年以内	18.4	41.6	21.6	13.9	4.5	100.0	<b>245</b>	3.56
	3年超～4年以内	18.9	47.5	17.1	11.5	5.1	100.0	<b>217</b>	3.64
	4年超	19.4	42.8	22.7	11.4	3.7	100.0	<b>299</b>	3.63
	合計	17.3	42.9	20.3	13.8	5.6	100.0	<b>1,309</b>	3.53

②離職者のうち転職して正社員である者

単位：%、太字は実数

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	合計	N	満足感点数(点)
男性	1年以内	8.0	41.3	22.5	21.0	7.2	100.0	<b>138</b>	<b>3.22</b>
	1年超～2年以内	16.7	50.0	18.9	12.2	2.2	100.0	<b>90</b>	<b>3.67</b>
	2年超～3年以内	18.4	45.9	16.3	15.3	4.1	100.0	<b>98</b>	3.59
	3年超～4年以内	12.0	41.3	21.7	18.5	6.5	100.0	<b>92</b>	3.34
	4年超	13.5	46.6	20.9	14.2	4.7	100.0	<b>148</b>	3.50
	合計	13.3	44.9	20.3	16.4	5.1	100.0	<b>566</b>	3.45
女性	1年以内	10.1	55.1	15.9	17.4	1.4	100.0	<b>69</b>	3.55
	1年超～2年以内	9.2	55.4	15.4	15.4	4.6	100.0	<b>65</b>	3.49
	2年超～3年以内	7.5	47.8	22.4	16.4	6.0	100.0	<b>67</b>	3.34
	3年超～4年以内	16.4	44.3	23.0	11.5	4.9	100.0	<b>61</b>	3.56
	4年超	23.8	21.4	33.3	14.3	7.1	100.0	<b>42</b>	3.40
	合計	12.5	46.7	21.1	15.1	4.6	100.0	<b>304</b>	3.47

注：「親代理調査」は対象から除いた。

満足感点数は、満足＝5、やや満足＝4、どちらでもない＝3、やや不満＝2、不満＝1としたときの平均値。